

2007 年度

科目名	対象学科・学年	担当者	
絵 画 ・ 工 芸 （含、理論）	教育教福 1 回生	やまもと けいすけ 山本 啓介	
授業テーマ			
基 礎 造 形 概 論 と そ の 技 法 を 修 得 す る			
授業の概要と目標			
幼児や児童の造形的な成長・発達段階に見られる「表現」の特質や傾向を理解し、幼児や児童の造形的な創造活動の意義について探究する。本講座では、主として表現にある基本的な事柄を実技実習し、その技法を体得していく。 特に、「線表現」「面表現」「色彩表現」「立体表現」「楽しい造形活動」「鑑賞」の各領域から、教育現場で行われている学習の実際を体験していく。			
評価方法			
・出席状況・制作活動の様子・提出作品・小テスト・自己評価などによって総合的に評価する。			
テキスト	著者	出版社	
必要に応じてテキスト・資料を紹介する。			
参考書	著者	出版社	
適宜紹介する。			
授業スケジュール・内容			
回	基 礎 造 形 概 論	実 技 実 習 の 内 容	備 考 (持参物)
1 回	レタリングについて	明朝体・ゴシック体	鉛筆
2 回	線表現にある基本的な事柄	一本線描法	細書き水性ペン
3 回	デッサンについて	鉛筆デッサン	鉛筆 (HB, 2B, 4B, 6B)
4 回	パスの持ち方、塗り方	線塗り、面塗り、混色	パス (16 色)
5 回	パスの技法①	ステンシル、フロッターージュ	パス (16 色)
6 回	パスの技法②	スクラッチ	パス (16 色)
7 回	パスの技法③	バチック	パス、水彩絵の具一式
8 回	水彩絵の具の色遊び	ドリッピング、ブローイング、デカコマニー	水彩絵の具一式
9 回	水彩絵の具の基本的な事柄①	濃淡、透明、明暗	水彩絵の具一式
10 回	水彩絵の具の基本的な事柄②	混色、重色	水彩絵の具一式
11 回	水彩絵の具の技法①	にじみ、ぼかし、かすれ	水彩絵の具一式
12 回	水彩絵の具の技法②	スタンプ、たんぽ、ストリングデザイン	水彩絵の具一式、その他
13 回	はさみの基本的な事柄	紙工作①	はさみ
14 回	カッターナイフの基本的な事柄	紙工作②	カッターナイフ
15 回	版画の色々①	凸版	ボールペン、古新聞
16 回	版画の色々②	凹版	ぼろぎれ、古新聞
17 回	版画の色々③	マブリック、染め紙	古新聞
18 回	粘土の基本的な事柄	紙粘土の立体	雑巾
19 回	木工作の基本的な事柄①	木の切断	軍手
20 回	木工作の基本的な事柄②	木の接着、接合	軍手
21 回	金工作の基本的な事柄	金属の切断	軍手、アルミ缶
22 回	貼り絵を使った技法①	コラージュ	広告紙、はさみ、その他
23 回	貼り絵を使った技法②	フォトモンタージュ	広告紙、はさみ、その他
24 回	楽しい造形活動	造形遊び	雑巾
25 回	色彩に関する用語	色彩ワーク	水彩用具一式、筆記用具
26 回	西洋美術史	西洋美術史ワーク	筆記用具
27 回	日本美術史	日本美術史ワーク	筆記用具
28 回	鑑賞の重要性	鑑賞ゲーム	作品持ち帰り袋
＊ 絵画・工芸Ⅰで制作した作品類は、教育実習時に教材研究の有効な参考資料となるので、大切に保管のこと。			
＊ どの担当者も、一年を通じて同じクラスを一人で担当する。同一内容を担当者の裁量で題材化する。			